

平成 30 年 4 月 1 日

練馬区医師会医療健診センター

練馬区胃がん内視鏡検診（胃内視鏡検査）偶発症発生時対応マニュアル

1. 目的

胃がん検診における胃部内視鏡検査において、従事職員は、常に検査受診者の安全を第一優先に考え、事故の未然防止につとめ、検査が安全に行えるよう、適切な行動をとる。万が一、偶発症が生じた場合は、本マニュアルに沿って対応する。

2. 偶発症の種類

穿孔、鼻出血、粘膜裂傷、気腫、生検部位からの後出血、前処置薬によるアナフィラキシーショック、その他

3. 偶発症の重症度

軽傷（処置なし）

中等度（処置あり）

重症（入院）

死亡

4. 偶発症発生時の対応

重症度別に応じた対応をする（別紙「偶発症発生時フロー図」参照）

5. 報告・記録

関係部署に速やかに口頭報告を行った後、検査医は「練馬区胃内視鏡検診偶発症報告書」を記入する。

報告書の原本は練馬区医師会が保管する。

コピーを練馬区健康推進課に届ける。

6. 家族説明

重症で入院治療の必要な場合等、家族への説明は 医療健診センター長が行う。

7. 検査後の問い合わせ

検査後の問い合わせは看護科で対応し、医師の指示が必要な場合は医療健診センター長に報告し対応する。